

～初挑戦による課題発見力・課題解決力・創造力向上～ WGCソーラーバイシクルレース初参戦

専攻科創造工学科の創造サークル活動で大きな成果！

1. 大会名：秋田県「大湯村ソーラースポーツライン」
2. 主催：ワールド・エコノ・ムーブ組織委員会
3. 主管：クリーン・エネルギー・アライアンス
4. 後援：文部科学省 秋田県教育委員会他
5. 開催日：令和3年8月9日(月)
6. 参加チーム：カテゴリ-A(市販自転車+ソーラー) 4チーム
カテゴリ-B(規定内の自由製作+ソーラー) 1チーム
カテゴリ-S(ソーラーのみ) 3チーム



7. 結果

- マラソン 25km×4周 所用時間の早いチーム **2位入賞**(甲工専1年生)
- 耐久ラリー 5時間以内の周回数の多いチーム **3位入賞**(甲工専2年生)
- タイムチャレンジ 申告タイムとの誤差の少なかったチーム**3位入賞**(甲工専1年生)

【学生のコメント】

[1年]元自転車部の経験等も活かしながら、初参加ながら入賞することが出来、自信に繋がりました。同時に上位チームの技術レベルの高さを知り、来年度に向け、さらなる研究心や挑戦する力が湧いています。

[2年]初めての取り組みのため、まずは、昨年の12月に例年参加されている愛知県愛知総合工科高等学校専攻科に訪問し、製作のノウハウや参加に関わる詳細事項を教えていただき、技術交流を図りました。その後、マシンの製作を電子系学生および機械系学生と一緒に、私達自ら考え、課題発見、課題解決し、デザイン、設計、製作に取り組みました。このような経験、身に付けた力を社会で生かしていきたいと決意しました。



2年生チーム カテゴリ-S参戦
チーム：エスカルゴ / マシン名：マイマイ



1年生チーム カテゴリ-A参戦
チーム：ワニと飼育員 / マシン名：クロコバイク



ピットでの整備作業
立派なテントに感謝！



天候は曇り時々晴れ間が見える程度
ソーラーパネルにとっては厳しい状況



車検は和やかな雰囲気で行われます。
車検スタッフとのコミュニケーションが楽しい。



レース中盤 ドライバー交代の様子。
乗るのも降りるのも一苦労。



最後は回収トラックによる搬送で無事帰還。
力を出し切って表れた姿に、全員が拍手喝采。



レース終了後、分解して積み込み。
夕陽が健闘を称えてくれました。